

B15		最終更新日		2025年5月21日	
プログラム名 (40字以内)	アラブ首長国連邦の「いま」: 資源都市アブダビ・古都アルアイン・沸騰都市ドバイ				
団体名/所属	東京大学 GS+I総括寄付講座				
活動区分	国際交流体験活動	希望する選考方法	書類審査後に面接		
募集人数	3人	選考対象	大学院学生を含まない		
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う				
参加者に求めるもの	・学部学生1〜3年生(英語による解説が理解でき、英語が公用語であるUAEの大学で学生と交流できる程度の英語力を有すること)・日本国籍所有者(本プログラム全体の実施に適用される外部資金からの制約による)				
活動期間	2025/9/12(金)〜9/22(月)	主な活動予定場所	アラブ首長国連邦・アブダビ首長国(アブダビ市、アルアイン市)、ドバイ首長国		
プログラム実施の目的	アラブ首長国連邦(UAE)は、石油依存型経済からの脱却という歴史的転換点にあります。世界的金融ハブへの発展、再生可能エネルギー技術の革新的開発、そして伝統文化と最先端技術の共存という多面的な変革を遂げつつあります。本プログラムでは、この変革の「いま」を、講義や文献だけでなく、実際の都市空間、企業活動、文化交流を通じて体感的に学びます。資源都市アブダビ、伝統が息づく古都アルアイン、商業の中心ドバイという特色ある三都市を訪問し、UAEの持続可能な発展戦略と社会変容の実態を多角的に考察します。現地の大学生や企業との交流を通じて、グローバル時代における資源国家の新たな発展モデルを探求し、日本との関係性についても理解を深めることを目的とします。				
具体的な内容(800字程度)	砂漠に突如として出現した「沸騰都市」ドバイは、世界最高の超高層ビル「ブルジュ・ハリファ」や世界最大の人工島「バーム・ジュメイラ」に象徴される未来志向の都市開発で、グローバル投資の一大拠点として躍進しています。一方、UAEの首都「アブダビ」は、石油資源を基盤としながらも、都市の近代性、治安の良さ、生活環境の質の高さで世界的な評価を得ています。両首長国は共に「脱石油」を見据え、大規模太陽光発電プロジェクトを推進。特にドバイ郊外の「サステイナブル・シティー」は、カーボンニュートラルを実現する先進的な住宅コミュニティとして世界の注目を集めています。 本プログラムでは、この化石燃料依存からの経済多角化、国際金融センターへの変貌、そして再生可能エネルギー技術の革新という変革を遂げつつあるUAEの「今」を、現地で直接体験し、多角的に学びます。これは単なる海外研修ではなく、持続可能な社会への移行という現代的課題を先進事例を通じて考察する機会であり、参加学生の視野拡大とキャリア選択肢を広げる経験となるでしょう。 研修では、ドバイとアブダビの日系企業・機関の訪問と本学OB/OGとの対話、アブダビの「ハリファ大学」での研究者や学生との交流、ドバイでの日本企業の中東ビジネス調査と太陽光発電所視察を行います。さらに「オアシス都市」アルアインを訪れ、伝統的灌漑システムの見学と「UAE大学」学生との交流を通じ、近代化の中で守られる伝統と現代UAEの若者の価値観について学びます。 この三都市を巡る旅は、石油依存から持続可能な未来へと舵を切るUAEの挑戦を、経済・技術・文化・社会の多面的視点から体感する貴重な機会となるでしょう。 日程/訪問先(案) 9/12(金)出発 9/13(土)アブダビ/ドバイ到着 9/14(日)Desert Safari(オプション:砂漠ツアー) 9/15(月)Khalifa University(学生交流) 9/16(火)日系石油開発企業・The International Renewable Energy Agency(IRENA)・Masdar City 9/17(水)Al Ain Oasis・UAE University(学生交流) 9/18(木)DEWA Sustainability & Innovation Centre・Dubai Desert Conservation Reserve Visitor Centre・The Sustainable City Dubai 9/19(金)Dubai International Financial Centre(日系商社、金融機関、法律事務所) UAE赤門会主宰夕食会 9/20(土)Al Fahidi Historical Neighborhood・日系起業支援民間企業 9/21(日)アブダビ/ドバイ発 9/22(月)帰国				
【総額】参加するための費用	320,000円				
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	100,000円 宿泊は2名で1室をシェアする				
【内訳】参加するための費用(交通費)	200,000円				
【内訳】参加するための費用(その他)	現地交通費／博物館入場料他 20,000円				
奨励金額(予定)	80,000円				
備考	◆プログラムが指定する航空便により成田/羽田空港とアブダビ/ドバイ国際空港間を往復する。 ◆国内の居住地と成田/羽田空港間の交通費、現地におけるバスによる移動経費(現金200AEDを現地で徴収)、現地の市内で公共交通およびタクシー等で移動する為の交通費、現地での宿泊費と食費、博物館等の入場料は参加者の自己負担とする。 ◆上記の航空券代金、宿泊費及び現地交通費は見積額であり、実施時点では大きく異なる場合がある。 ◆航空券は提出されたバスポート情報に基づき、プログラム事務局が手配する。 ◆本プログラムは「UAE(アラブ首長国連邦)赤門会」の全面的な支援と、安全に関する(現地に在住する日本人の観点での)助言を得て実施する。 プログラムに関する問い合わせ先: imaizumi@gsi.u-tokyo.ac.jp(今泉)				
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	Khalifa University: http://www.ku.ac.ae/ UAE University: https://www.uaeu.ac.ae/en/ Sustainable City in Dubai: https://www.thesustainablecity.ae/ プログラム紹介ウェブサイト https://nakayama532.wixsite.com/website IRENA: https://www.irena.org				
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	東京大学GS+I総括寄付講座: http://www.gsi.u-tokyo.ac.jp/ DEWA: https://www.mbrsic.ae/				
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する				